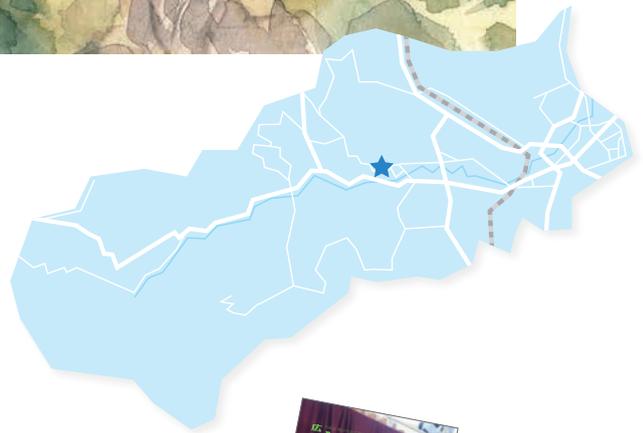




### 枝越しの眺望（大字西平地内）

ときがわ町には、山並の向こうに、遠くの町並や都内のビル群までが見渡せる、眺望のよい場所が何か所かある。女鹿岩登山口あたりも、そんな場所のひとつだ。

別所から四季彩館を左に見て雲河原へ向かう道の途中、「女鹿岩」への道標が立っている。その少し手前…  
落葉した木の枝越しに、こんな景色が広がっている。



【編集後記】2024年も残りあとわずか。この1年間、広報の編集や取材を通して言葉に触れる機会が増えた。「ヤバイ」、「すごい」を多用していたこんな私でも、少しは成長できたように感じる。「虹の色の数は？」という問いかけに多くの日本人が7色と答えるが、他の国や文化では違った答えになる。これは色を表現する「言葉の数」が違うからだ。言葉を学ぶことで世界の解像度が変化する。自分の生きやすい殻に閉じこもり単調な日々を過ごすのか、深淵な世界へと1歩踏み出し言葉で彩られた新しい景色を眺めるのか、皆さんはどちらを選ぶだろうか。【笠原】

